

## 平成19年度取組みの評価

評価の2年目となる平成19年度は、高砂市次世代育成支援行動計画に基づき、様々な事業が展開され、次のような成果をあげることができました。

以下、6つの基本目標ごとに実施した主なものをあげてみました。

### 目標1 子育て家庭への支援

児童手当法の改正により、3歳未満の児童に対する児童手当を一律月額1万円に増額しました。また、乳幼児医療費助成の対象を小学校3年生まで拡大。入院については、小学校4年生から中学校3年生までは一部負担なしとしました。

また、虐待相談専用の電話を設置し、相談に対応しました。

### 目標2 子育て支援のコミュニティ整備

18年度から開設準備を行っていたファミリーサポートセンターを4月に開設し、7月より援助活動を開始しました。また子育て支援センターに「つどいの広場」を設置し、親子交流活動の場として多くの方に利用してもらいました。

### 目標3 就労と子育ての両立支援

4月よりみどり丘保育園を民間移管し、休日保育を開始しました。また、きくなみ保育園の廃園にともなう民間移管を行うため、移管先法人の選考を行いました。

この他、学童保育所の環境整備として、曽根学童保育所を曽根小学校の空き教室に移転しました。

### 目標4 健全育成に向けた教育の充実

18年度に国が定めた「放課後こどもプラン」に基づき、放課後や週末に小学校の余裕教室などを活用して子供たちの安心安全な居場所としての「放課後こども教室」を開催し、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流を目的に放課後学習や体験学習を行いました。

### 目標5 地域での生活環境の整備

青色防犯パトロールカーを配備し、警察官OB2人が市内を巡回、主に学校、幼稚園、保育園の登下校時に子どもの見守りを行いました。

また、下校時の見守り放送の実施や、不審者情報のメール配信も行いました。

### 目標6 安心して生み育てることができる環境の整備

ことばの遅れや対人関係がうまく取れない子どもや育児不安の強い母親に対して、遊びを通して関わり方を支援する、母と子の遊びの教室「きらりん☆くらぶ」を実施しました。

また、幼稚園、小学校、中学校において、特別支援教育の研究を行い、一人一人に応じた特別支援にも取り組んでいます。

18年度から開始した療育相談「マミーサポート」事業の充実のため、高砂児童学園に相談・交流スペースの設置工事を行いました。

以上、平成19年度は、5年を一区切りとする前期行動計画の3年目が経過し、計画に添って着実に事業を展開してきました。特に、次世代育成推進法で定められた特定事業については、平成21年度の目標達成に向け、順次、事業を開始、または実施しています。

なお、今後に向けての課題としては、病後児保育事業、子育て家庭短期入所事業など利用者が少ない事業や、ファミリーサポートセンターなどの新設した事業について、事業の周知と利用者増を図るため、今後、さらなる啓発を行う必要があります。